

数 学 学 習 指 導 案						
ク ラ ス	1 年 1 組	場 所	101 教室	指 導 者	( 省 略 )	
単 元	第 3 章 2 次関数		教 科 書	新編 数学 ( 旺文社 )		
指 導 計 画 時 間 配 当	§ 1 2 次関数 1 関数とグラフ . . . 1 時間 2 2 次関数のグラフ . . . 5 時間 3 2 次関数の決定 . . . 2 時間 ( 本時はその 1 時間目 ) § 2 2 次関数の応用 . . . 1 0 時間					
本 時 の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>連立 3 元 1 次方程式を、主として加減法で解けるようにする。</li> <li>ある条件 ( 頂点の座標や軸の方程式が与えられた場合 ) を満たす 2 次関数を決定することができるようにする。</li> </ul>					
本 時 の 指 導 過 程	指 導 内 容		分	留 意 点 ・ 評 価 等 ・ 資 料 等		
	導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 元連立 1 次方程式を解く。</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>代入法、加減法で文字を消去することを確認させる。( 知識 ・ 理解 )</li> </ul>		
	展 開	1	3 元連立 1 次方程式の解法を考える。	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習プリントを基に加減法の解法を説明する。 ( 数学的な考え方 )</li> <li>どの文字に着目するといいか考えさせる。 ( 表現 ・ 処理 )</li> </ul>	
		2	3 元連立 1 次方程式の練習問題を解く。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>机間指導をして理解度を確認する。 ( 知識 ・ 理解 )</li> </ul>	
		3	ある条件 ( 頂点の座標や軸の方程式が与えられた場合 ) を満たす 2 次関数を求めることを考える。 ( 1 ) 条件を満たすグラフの概形をかく。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>図をかくことで計算に頼るだけでなく視覚的にもとらえさせる。</li> <li>一般形、標準形、因数分解形を確認し、どの形を選べばよいかを考えさせる。 ( 数学的な考え方 )</li> </ul>	
		4	( 2 ) 条件に応じた式を選ぶ。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>検算をし、条件を満たしていることを確認させる。</li> </ul>	
	過	( 3 ) 方程式を解き、解を求める。	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>机間指導で、生徒の取り組み状況を把握し、理解の早い生徒に板書させる。 ( 関心 ・ 意欲 )</li> </ul>		
理	( 4 ) 問 1 9 ( 類題 ) を解く。	10				
整 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のまとめと次時の予告をする。</li> </ul>		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 点が与えられた場合はどうすればよいか考えさせる。</li> </ul>		
備 考	生徒数 4 0 名					

